

(一) 次のぼう線部の漢字の読み方をひらがなで線の右横に書いてください。

① 友達との 約束を 果たす。

⑤ 仲良しの 姉妹。

② 街角の 見なれた 風景。

⑥ 飛行機の 速度が 速まる。

③ 新聞を 印刷機で 刷る。

⑦ 真面目な 両親。

④ 明日は 必ず 安静にすること。

⑧ 交代で 水を運ぶ。

(二) 次のぼう線部のひらがなを線の右横に漢字で書いてください。

① じしんに みちた かお。

⑤ みんなで きょうごうで りょうずる。

② こうじが じゅんちように すすむ。

⑥ こくみんの しゅへく。

③ きせつの かわりめ。

⑦ ものがたりの どうじょうじえんじ。

④ なんきよくたいりくの きんこう。

⑧ かざんの しゃしんを うつす。

(三) 次の文章を読んで後の問題に答えてください。

カブトガニは、北アメリカの東海岸と、アジアの一部にしか住んでいない、めずらしい動物です。日本では、瀬戸内海の一部や九州北部などに見られます。全長およそ六十メートル、するどいつるぎのようなしっぽをもち、いかめしいかぶとのような頭をしています。

カブトガニは、実は、二億年も昔から、ほとんど形を変えることなく生き続けてきた動物です。なぜ、そんなにも長い間生き続けることができたのでしょうか。

第一の理由は、海の底のどろの中でひっそりと生活してきたことです。そのため、てきにおそわれることが少なく、気候の大きな変化にも、えいきょうを受けなくてすんだのです。

第二の理由は、食べ物が少なくてすむということです。何も食べなくても、半年以上もどろの中で生きていられるのです。

第三の理由は、たまごを数百こずつ分散して産むことです。そのため、たまごがぜんめつする心配がありません。

このようなくちょうをもつカブトガニも、今では、ずいぶん少なくなりました。海がよこれ、海岸がうめ立てられ、カブトガニのすみかがうばわれてきたからです。

そこで、カブトガニを守る運動が、岡山県笠岡市など、各地で進められるようになりました。カブトガニを守ることは、自然を守り、わたしたちのくらしを、守ることにつながるのです。

(土屋圭示 つちやけいじ)

「カブトガニを守る」より

問(一) カブトガニはどのようなかっこうをしていますか。文章内の言葉を使って書いてください。

問(二) カブトガニがてきにおそわれず、気候のえいきょうを受けなかったのはなぜですか。

問(三) たまごを数百こずつ分散して産むと、どうしてぜんめつする心配がないのですか。

問(四) カブトガニの数が少なくなってきたのはなぜですか。

問(五) 美しい自然を守るためにわたしたちはどのようなことに注意しなければならないと思いますか。100字以上で自由に書いてください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---